

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-4-2		事業名	防災行政無線拡充整備			
担当	危機管理対策室危機管理対策部危機管理対策課 平田 211-3060						
全体計画							
事業内容	大規模災害時、電話回線が途絶、輻輳した場合に備え、収容避難場所となる小学校や災害時に重要な役割を担う、まちづくりセンター等に300箇所の施設にデジタル式防災行政無線を整備する。			<年度別の事業内容>			
				<平成19年度> 整備予定箇所の実施設計 <平成20年度> 整備工事 120箇所 <平成21年度> 整備工事 180箇所			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<事業内容> 小学校、まちづくりセンター及びコミュニティFM局等への防災行政無線に係る実施設計を実施 <設計箇所数> 300箇所 <決算額> 5,900千円			<事業内容> 小学校、まちづくりセンター及びコミュニティFM局等への防災行政無線の整備工事 <整備箇所数> 120箇所 <予算額> 116,000千円			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
防災行政無線整備数(累計)		518基	518基	638基	818基	/	818基 (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-4-2		事業名	防災行政無線拡充整備		
評価(成果)			課題			
<p>収容避難場所である小学校等、災害時における地域の活動拠点である市内のまちづくりセンター及び地域に限定した最新の防災情報や生活関連情報を発信することができるコミュニティFM局へ防災行政無線を整備することで、災害時の情報連絡体制の強化を図ることができる。</p>			<p>今回の整備が終了時点で、市有施設の収容避難場所のうち84%に設置されることになるが、防災行政無線機が設置されていない収容避難場所があることから、これらの施設への整備が必要である。</p> <p>また、防災関係機関への整備についても検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>未整備施設への整備と併せて、これまで整備した無線機及びシステムの更新、無線機の増設に伴う基地局の新設及び総合通信局への増波要請等、中長期的な課題があることから、これらを踏まえた「仮)防災行政無線整備更新計画」を策定し計画的な事業の執行を行う。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	6,500	141,120	140,380	0	288,000
	財源					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市内債	0	127,000	124,000	0	251,000
	その他	0	0	0	0	0
予算	事業費	6,500	116,000	-	-	122,500
	財源					
	国・道支出金	0	0			0
	市内債	0	101,000			101,000
	その他	0	0			0
実績	事業費	5,900	-	-	-	5,900
	財源					
	国・道支出金	0				0
	市内債	0				0
	その他	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				42.3%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						